

日本の学童ほいくニュース です

2005, 10月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10
 TEL 5951-2789 FAX 5951-2795
 URL: <http://www.gakuho-tokyo.jp> E-mail: gakuho@a.toshima.ne.jp

10月号の特集は「ことば」です。最近「子どもの気持ちがかめない」「どうかかわればよいのか、とまどいを感じてしまう」という声が多く聞かれます。子どもの気持ちにより近づき、信頼関係を築いていくために大切なことは何でしょうか。親・指導員の気持ちを交流するとともに、子どもたちのことばを成長と結びつけて理解し、かわることの大切さを学びます。

今月号の一押し

その1

「言えはいい!」の一言で

広島市戸坂留守家庭子ども会保護者 光貞香代子
 朝食のシリアルの中に入っていたヒマワリの種を、黙って椅子の下に捨てた息子に腹を立てるお父さん。

“まったく! どうしても苦手で食べられないなら、そう言えはいい!” その“言えはいい!”の言葉を聞いたとたん、自分の子ども時代がフラッシュバックしたお母さん。信頼する親から発せられた「刃」の言葉に、言いたいことがあっても伝えることができなくなってしまったことを…。大人になって、その気持ちを忘れてしまったことに気づかれたとのこと。私たちがつい子どもに言う“言わなきゃだめだよ!” “だまってるからわからないんだよ!”。確かに「自分の気持ちを相手に伝える」ことは、人間関係の中でとても大切なことでも…そうできない時の気持ちにもきちっと寄り添わないとね。子どもたちを息込んでしまわぬように。



10月号の特集

こころを育てることばを育む

「思い伝わる会話を楽しんで」

藤枝市たつのこクラブ保護者 マチャマ淑子

「子どもの感性を信じて」

岡山市うのクラブ保護者 丹敦子

『あこがれ、背伸びは「ことば」から』

京都市高野児童館学童クラブ保護者 高松郁子

『「言えはいい!」の一言で』

広島市戸坂留守家庭子ども会保護者 光貞香代子

「命に染みわたるように」

宇都宮市新田小留守家庭児童会あおぞら

保護者 赤木克葉

「兄弟、それぞれのやさしさ」

富田林市藤沢台学童クラブ保護者 清原三千代

「ちょっと待って、後でね」

名古屋市星ヶ丘子どもクラブ指導員 柘植千佳

「大切にしたい話すということ」

町田市大蔵学童クラブ指導員 青木成子

「言葉の基礎と発達」

元京都女子大学 岡本夏木



できたよー!

**かくどうあそびくカット集
CD版 (1・2・3)**

ご好評いただいております「カット集」。
PCで使えるようにCD版がほしいなあ〜。
…の声にお応えして、ついに登場!
ただいま・おやつ・こども・せいかつ…
などのファイルに約250のカットを集約。
おたより、行事案内、父母会ニュース、etc…
などに、ご活用下さい。

1・2・3 各1枚 ¥800
3枚セットで ¥2000! (送料別)

東京都学童保育連絡協議会
TEL 03-5951-2789 FAX 03-5951-2795

ほいくニュース
について

ほいく誌の感想、このニュースへの意見、いろいろお寄せください。
作り手も募集しています。

今月号の一押しその2

その1

ことばの基礎と発達

元京都女子大学 岡本夏木
岡本先生は、学童期派子どもが自分の「心」の中で、自分と話し合う「自己内対話」の時期に入ってくると書かれています。そしてそれは、人間としての発達にとって画期的なことからであり、その原型は、自分と自分に特に親しい親と先生との対話にあるということです。子どもたちとの豊かな対話が、いかに大切なことなのかわかります。また、「外から見ると黙っているように見える時こそ、その子がいちばん自分自身と向かい合っているのかもわからない」との言葉にも共感してしまいました。元気に遊

ぶ、そのことだけでなく、こんなふうに静かに自分自身と向かい合う時間を保障したいものです。そして、そして..岡本先生は最後に『学童保育』ということばが、子ども発達

達にとって必要な大きい1つの意味を提起している」と書いていただきました。なぜそう言えるのかを、具体的な根拠に基づいて説明して下さっています。どうぞ、みなさん一読を!

その2

「講座 若者たちの『今』を知る1」

子どもが遠ざかるときー思春期への出発

横浜私立大学中西新太郎

中西先生の新しい講座が始まりました。大変興味深いテーマです。第1回から「ドキッ」「ギクッ」の連続です。思春期に向かっていく中、わが子がどんどん得体の知れないものになっていく、自分からどんどん離れていくようだ..そんな思いはどの親も経験しているのではないのでしょうか?でもそこには、すさまじいまでの消費文化の世界で必死に生きている子どもたちの姿があったのです.....。わたしたちはそんな子どもたちを理解していくことができるのでしょうか。そっと守れる、見つめられる位置にいらることができるのでしょうか..。中西先生の講座、次回も楽しみです!!

次号予告 11月号

特集・育ちあう指導員仲間

- ・指導員をめぐる現状
- ・私を励ましてくれたあの一言
- ・指導員同士の支え合い

ずいそう

野澤延行

講座・若者たちの「今」を知る

中西新太郎

子どもたちのまなざし

土佐いづ子

試せばハマる家事のワザ

佐光紀子

カメラでこんにちば/父母会/子育て日記/わたしは

指導員/たのしいな/クイズ/まんが/子どものひろば
/読者のひろば/ほか